

グローバル人材育成プログラム【法学部】における単位の取扱表（2019年度以前入学者用）

2020/4/1

2020年度に開講しているグローバル人材育成プログラムは、2019年度までグローバル人材育成プログラム、日本ASEAN相互理解プログラム、国際協力人材育成プログラムとしてそれぞれ実施していました。

そのため、2019年度以前入学者は以下の取扱表を参考にし、履修の取扱いを確認してください。

【単位の取扱い】

○：学部卒業要件単位に含めて履修できます

△：卒業要件外科目として履修できます

※：「カリキュラム上の位置づけ」を確認してください

プログラム区分	科目名称	単位の取扱い	単位数	履修可能な入学年度	履修条件	カリキュラム上の位置づけ
グローバル人材育成プログラム	地域研究講座	○	2	2013年度～	履修上限単位に含まれる。	『自由選択科目』として取り扱う。 卒業要件として認める。
	留学理解講座	○	2	2018年度～		
	日本社会・文化理解講座	○	2	2018年度～		
	海外文化・専門集中講座	○	2	2013年度～	履修上限単位に含まない。 また、異なる授業内容の場合、重複履修を認める。	
	海外語学研修講座 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語)	○	2	2018年度～		
	短期海外実習	○	1	2013年度～		
	海外実習	○	2	2013年度～		
	長期海外実習	○	8	2013年度～		
海外実習課題研究	○	4	2013年度～	履修上限単位に含まれる。 また、異なる授業内容の場合、重複履修を認める。		
日本ASEAN相互理解プログラム	東南アジア理解講座	○	2	2013年度～	履修上限単位に含まれる。	
	東南アジア文化・専門集中講座	○	2	2013年度～	履修上限単位に含まれる。	
	短期東南アジア実習	○	1	2013年度～	履修上限単位に含まない。	
	東南アジア実習	○	2	2013年度～	また、異なる授業内容の場合、重複履修を認める。	
国際協力人材育成プログラム	グローバル共通教養総論	※	2	2012年度～	所属学部にお問い合わせください。	所属学部にお問い合わせください。
	グローバル・ 이슈各論	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチA (国際人権系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチB (開発経済系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチC (人道支援系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチD (国際システム系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチE (模擬国連・総合演習系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチF (強制移転・移住系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチG (紛争と平和)	※	2	2012年度～		
	国際協カリテラシー	※	2	2012年度～		
	アクティブ・リサーチ1	※	4	2012年度～		
アクティブ・リサーチ2	※	2	2012年度～			

商学部を除く全ての学部において、長期休業期間中の海外留学を伴う科目の取扱いは、以下のとおりです（国際協力人材育成プログラムを除く）。

※大学祭期間中の海外留学を伴う科目は、取扱いが異なりますので、各学部事務室に必ず確認してください。

【対象科目】 「海外文化・専門集中講座」「海外語学研修講座」「短期海外実習」「海外実習」「長期海外実習」「東南アジア文化・専門集中講座」「短期東南アジア実習」「東南アジア実習」

【取扱い】 1 各学部で設定する履修上限単位数に含まない
2 同一科目名称であっても、異なる授業内容の場合、重複履修を認める

【対象入学年度】

法学部	2013年度～
商学部	×
政治経済学部	2015年度～
文学部	2015年度～
理工学部	全入学年度
農学部	全入学年度
経営学部	2012年度～
情報コミュニケーション学部	2013年度～
国際日本学部	全入学年度
総合数理学部	全入学年度

グローバル人材育成プログラム【商学部】における単位の取扱表（2019年度以前入学者用）

2020/4/1

2020年度に開講しているグローバル人材育成プログラムは、2019年度までグローバル人材育成プログラム、日本ASEAN相互理解プログラム、国際協力人材育成プログラムとしてそれぞれ実施していました。そのため、2019年度以前入学者は以下の取扱表を参考にし、履修の取扱いを確認してください。

【単位の取扱い】

○：学部卒業要件単位に含めて履修できます

△：卒業要件外科目として履修できます

※：「カリキュラム上の位置づけ」を確認してください

プログラム区分	科目名称	単位の取扱い	単位数	履修可能な入学年度	履修条件	カリキュラム上の位置づけ
グローバル人材育成プログラム	地域研究講座	※	2	2013年度～	【2017年度以前入学者】 履修上限に含まない。 【2018年度以降入学者】 履修上限や卒業要件に含まない。ただし、4年次に卒業要件への算入を申請する場合には、「カリキュラム上の位置づけ」を確認のこと。	【2017年度以前入学者】 卒業要件に含まない。 【2018年度以降入学者】 「学部間共通外国語」「国際協力人材育成プログラム」「日本ASEAN相互理解プログラム」「グローバル人材育成プログラム」について、合計4単位までをフリーゾンの単位として卒業に必要な単位数に含めることができる。その場合は、1年次～3年次の間に卒業要件外として履修・修得した単位を、学生からの申請に基づき、4年次の春学期に卒業要件に算入する。4年次の申請により卒業要件への算入を認められた単位は4年次の履修制限単位数に含まれる。
	留学理解講座	※	2	2018年度～		
	日本社会・文化理解講座	※	2	2018年度～		
	海外文化・専門集中講座	※	2	2013年度～		
	海外語学研修講座 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語)	※	2	2018年度～		
	短期海外実習	※	1	2013年度～		
	海外実習	※	2	2013年度～		
	長期海外実習	※	8	2013年度～		
日本ASEAN相互理解プログラム	海外実習課題研究	※	4	2013年度～		
	東南アジア理解講座	※	2	2013年度～		
	東南アジア文化・専門集中講座	※	2	2013年度～		
	短期東南アジア実習	※	1	2013年度～		
国際協力人材育成プログラム	東南アジア実習	※	2	2013年度～		
	グローバル共通教養総論	※	2	2012年度～	所属学部にお問い合わせください。	所属学部にお問い合わせください。
	グローバル・イシュー各論	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチA（国際人権系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチB（開発経済系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチC（人道支援系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチD（国際システム系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチE（模擬国連・総合演習系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチF（強制移転・移住系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチG（紛争と平和）	※	2	2012年度～		
	国際協力リテラシー	※	2	2012年度～		
	アクティブ・リサーチ1	※	4	2012年度～		
アクティブ・リサーチ2	※	2	2012年度～			

商学部を除く全ての学部において、長期休業期間中の海外留学を伴う科目の取扱いは、以下のとおりです（国際協力人材育成プログラムを除く）。

※大学祭期間中の海外留学を伴う科目は、取扱いが異なりますので、各学部事務室に必ず確認してください。

【対象科目】 「海外文化・専門集中講座」「海外語学研修講座」「短期海外実習」「海外実習」「長期海外実習」「東南アジア文化・専門集中講座」「短期東南アジア実習」「東南アジア実習」

【取扱い】 1 各学部で設定する履修上限単位数に含まない

2 同一科目名称であっても、異なる授業内容の場合、重複履修を認める

【対象入学年度】

法学部	2013年度～
商学部	×
政治経済学部	2015年度～
文学部	2015年度～
理工学部	全入学年度
農学部	全入学年度
経営学部	2012年度～
情報コミュニケーション学部	2013年度～
国際日本学部	全入学年度
総合数理学部	全入学年度

グローバル人材育成プログラム【政治経済学部】における単位の取扱表（2019年度以前入学者用）

2020/4/1

2020年度に開講しているグローバル人材育成プログラムは、2019年度までグローバル人材育成プログラム、日本ASEAN相互理解プログラム、国際協力人材育成プログラムとしてそれぞれ実施していました。

そのため、2019年度以前入学者は以下の取扱表を参考にし、履修の取扱いを確認してください。

【単位の取扱い】

○：学部卒業要件単位に含めて履修できます

△：卒業要件外科目として履修できます

※：「カリキュラム上の位置づけ」を確認してください

プログラム区分	科目名称	単位の取扱い	単位数	履修可能な入学年度	履修条件	カリキュラム上の位置づけ
グローバル人材育成プログラム	地域研究講座	※	2	2008年度～	夏季休業期間及び春季休業期間に実施する集中科目を除き、履修上限単位に含まれる。	【2014年度以前入学者】 卒業要件には含まない。 【2015年度以降入学者】 他学部履修科目を含め、20単位まで卒業に必要な単位数に算入することができる。
	留学理解講座	○	2	2018年度～		
	日本社会・文化理解講座	○	2	2018年度～		
	海外文化・専門集中講座	※	2	2008年度～		
	海外語学研修講座 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語)	○	2	2018年度～		
	短期海外実習	※	1	2008年度～		
	海外実習	※	2	2008年度～		
	長期海外実習	※	8	2008年度～		
日本ASEAN相互理解プログラム	海外実習課題研究	※	4	2008年度～		
	東南アジア理解講座	※	2	2013年度～		
	東南アジア文化・専門集中講座	※	2	2013年度～		
	短期東南アジア実習	※	1	2014年度～		
国際協力人材育成プログラム	東南アジア実習	※	2	2014年度～	所属学部にお問い合わせください。	所属学部にお問い合わせください。
	グローバル共通教養総論	※	2	2012年度～		
	グローバル・イシュー各論	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチA (国際人権系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチB (開発経済系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチC (人道支援系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチD (国際システム系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチE (模擬国連・総合演習系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチF (強制移転・移住系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチG (紛争と平和)	※	2	2012年度～		
	国際協力リテラシー	※	2	2012年度～		
	アクティブ・リサーチ1	※	4	2012年度～		
アクティブ・リサーチ2	※	2	2012年度～			

商学部を除く全ての学部において、長期休業期間中の海外留学を伴う科目の取扱いは、以下のとおりです（国際協力人材育成プログラムを除く）。

※大学祭期間中の海外留学を伴う科目は、取扱いが異なりますので、各学部事務室に必ず確認してください。

【対象科目】 「海外文化・専門集中講座」「海外語学研修講座」「短期海外実習」「海外実習」「長期海外実習」「東南アジア文化・専門集中講座」「短期東南アジア実習」「東南アジア実習」

【取扱い】 1 各学部で設定する履修上限単位数に含まない

2 同一科目名称であっても、異なる授業内容の場合、重複履修を認める

【対象入学年度】 法学部 2013年度～

商学部 ×

政治経済学部 2015年度～

文学部 2015年度～

理工学部 全入学年度

農学部 全入学年度

経営学部 2012年度～

情報コミュニケーション学部 2013年度～

国際日本学部 全入学年度

総合数理学部 全入学年度

グローバル人材育成プログラム【文学部】における単位の取扱表（2019年度以前入学者用）

2020/4/1

2020年度に開講しているグローバル人材育成プログラムは、2019年度までグローバル人材育成プログラム、日本ASEAN相互理解プログラム、国際協力人材育成プログラムとしてそれぞれ実施していました。そのため、2019年度以前入学者は以下の取扱表を参考にし、履修の取扱いを確認してください。

【単位の取扱い】

○：学部卒業要件単位に含めて履修できます

△：卒業要件外科目として履修できます

※：「カリキュラム上の位置づけ」を確認してください

プログラム区分	科目名称	単位の取扱い	単位数	履修可能な入学年度	履修条件	カリキュラム上の位置づけ
グローバル人材育成プログラム	地域研究講座	※	2	2013年度～	【2014年度以前入学者】 履修上限単位に含まれる。 【2015年度以降入学者】 海外留学を伴う科目を除き、履修上限単位に含まれる。	【2014年度以前入学者】 卒業要件には含まない。 【2015年度以降入学者】 「国際協力人材育成プログラム」「日本ASEAN相互理解プログラム」「グローバル人材育成プログラム」と合計し、『選択科目』として16単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。
	留学理解講座	※	2	2018年度～		
	日本社会・文化理解講座	※	2	2018年度～		
	海外文化・専門集中講座	※	2	2013年度～		
	海外語学研修講座 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語)	※	2	2018年度～		
	短期海外実習	※	1	2013年度～		
	海外実習	※	2	2013年度～		
	長期海外実習	※	8	2013年度～		
日本ASEAN相互理解プログラム	海外実習課題研究	※	4	2013年度～	【2015年度以降入学者】 海外留学を伴う科目を除き、履修上限単位に含まれる。	【2015年度以降入学者】 「国際協力人材育成プログラム」「日本ASEAN相互理解プログラム」「グローバル人材育成プログラム」と合計し、『選択科目』として16単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。
	東南アジア理解講座	※	2	2013年度～		
	東南アジア文化・専門集中講座	※	2	2013年度～		
	短期東南アジア実習	※	1	2013年度～		
国際協力人材育成プログラム	東南アジア実習	※	2	2013年度～	所属学部にお問い合わせください。	所属学部にお問い合わせください。
	グローバル共通教養総論	※	2	2012年度～		
	グローバル・イシュー各論	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチA (国際人権系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチB (開発経済系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチC (人道支援系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチD (国際システム系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチE (模擬国連・総合演習系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチF (強制移転・移住系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチG (紛争と平和)	※	2	2012年度～		
	国際協力リテラシー	※	2	2012年度～		
	アクティブ・リサーチ1	※	4	2012年度～		
アクティブ・リサーチ2	※	2	2012年度～			

商学部を除く全ての学部において、長期休業期間中の海外留学を伴う科目の取扱いは、以下のとおりです（国際協力人材育成プログラムを除く）。

※大学祭期間中の海外留学を伴う科目は、取扱いが異なりますので、各学部事務室に必ず確認してください。

【対象科目】 「海外文化・専門集中講座」「海外語学研修講座」「短期海外実習」「海外実習」「長期海外実習」「東南アジア文化・専門集中講座」「短期東南アジア実習」「東南アジア実習」

【取扱い】 1 各学部で設定する履修上限単位数に含まない
2 同一科目名称であっても、異なる授業内容の場合、重複履修を認める

【対象入学年度】 法学部 2013年度～
商学部 ×
政治経済学部 2015年度～
文学部 2015年度～
理工学部 全入学年度
農学部 全入学年度
経営学部 2012年度～
情報コミュニケーション学部 2013年度～
国際日本学部 全入学年度
総合数理学部 全入学年度

グローバル人材育成プログラム【理工学部】における単位の取扱表（2019年度以前入学者用）

2020/4/1

2020年度に開講しているグローバル人材育成プログラムは、2019年度までグローバル人材育成プログラム、日本ASEAN相互理解プログラム、国際協力人材育成プログラムとしてそれぞれ実施していました。そのため、2019年度以前入学者は以下の取扱表を参考にし、履修の取扱いを確認してください。

【単位の取扱い】

○：学部卒業要件単位に含めて履修できます

△：卒業要件外科目として履修できます

※：「カリキュラム上の位置づけ」を確認してください

プログラム区分	科目名称	単位の取扱い	単位数	履修可能な入学年度	履修条件	カリキュラム上の位置づけ		
グローバル人材育成プログラム	地域研究講座	○	2	全入学年度	同一内容の科目を除いて、重複履修を認める。	「国際協力人材育成プログラム」「日本 ASEAN 相互理解プログラム」「グローバル人材育成プログラム」と合計し、2 単位まで卒業要件に含めることができる。（3 単位以上の科目は卒業要件外）		
	留学理解講座	○	2	2018 年度～				
	日本社会・文化理解講座	○	2	2018 年度～				
	海外文化・専門集中講座	○	2	全入学年度				
	海外語学研修講座 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語)	○	2	2018 年度～				
	短期海外実習	○	1	全入学年度				
	海外実習	○	2	全入学年度				
	長期海外実習	△	8	全入学年度				
海外実習課題研究	△	4	全入学年度					
日本ASEAN相互理解プログラム	東南アジア理解講座	○	2	全入学年度				
	東南アジア文化・専門集中講座	○	2	全入学年度				
	短期東南アジア実習	○	1	全入学年度				
	東南アジア実習	○	2	全入学年度				
国際協力人材育成プログラム	グローバル共通教養総論	※	2	2012年度～			所属学部にお問い合わせください。	所属学部にお問い合わせください。
	グローバル・イシュー各論	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチA（国際人権系）	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチB（開発経済系）	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチC（人道支援系）	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチD（国際システム系）	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチE（模擬国連・総合演習系）	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチF（強制移転・移住系）	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチG（紛争と平和）	※	2	2012年度～				
	国際協力リテラシー	※	2	2012年度～				
	アクティブ・リサーチ 1	※	4	2012年度～				
アクティブ・リサーチ 2	※	2	2012年度～					

商学部を除く全ての学部において、長期休業期間中の海外留学を伴う科目の取扱いは、以下のとおりです（国際協力人材育成プログラムを除く）。

※大学祭期間中の海外留学を伴う科目は、取扱いが異なりますので、各学部事務室に必ず確認してください。

【対象科目】 「海外文化・専門集中講座」「海外語学研修講座」「短期海外実習」「海外実習」「長期海外実習」「東南アジア文化・専門集中講座」「短期東南アジア実習」「東南アジア実習」

【取扱い】 1 各学部で設定する履修上限単位数に含まない
2 同一科目名称であっても、異なる授業内容の場合、重複履修を認める

【対象入学年度】 法学部 2013年度～
商学部 ×
政治経済学部 2015年度～
文学部 2015年度～
理工学部 全入学年度
農学部 全入学年度
経営学部 2012年度～
情報コミュニケーション学部 2013年度～
国際日本学部 全入学年度
総合数理学部 全入学年度

グローバル人材育成プログラム【農学部】における単位の取扱表（2019年度以前入学者用）

2020/4/1

2020年度に開講しているグローバル人材育成プログラムは、2019年度までグローバル人材育成プログラム、日本ASEAN相互理解プログラム、国際協力人材育成プログラムとしてそれぞれ実施していました。

そのため、2019年度以前入学者は以下の取扱表を参考にし、履修の取扱いを確認してください。

【単位の取扱い】

○：学部卒業要件単位に含めて履修できます

△：卒業要件外科目として履修できます

※：「カリキュラム上の位置づけ」を確認してください

プログラム区分	科目名称	単位の取扱い	単位数	履修可能な入学年度	履修条件	カリキュラム上の位置づけ		
グローバル人材育成プログラム	地域研究講座	○	2	全入学年度	春季休業期間に実施する集中科目を1～3年生が履修した場合は、次年度の履修科目として取扱う。	卒業要件に4単位を上限として算入することができる。 なお、修得単位の算入先は次のとおり。 【2012年度以降入学者】 『総合科目共通科目群学際的分野』 【2011年度以前入学者】 『総合科目群共通科目群第四分野』		
	留学理解講座	○	2	2018年度～				
	日本社会・文化理解講座	○	2	2018年度～				
	海外文化・専門集中講座	○	2	全入学年度				
	海外語学研修講座 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語)	○	2	2018年度～				
	短期海外実習	○	1	全入学年度				
	海外実習	○	2	全入学年度				
	長期海外実習	△	8	全入学年度				
海外実習課題研究	△	4	全入学年度					
日本ASEAN相互理解プログラム	東南アジア理解講座	○	2	全入学年度				
	東南アジア文化・専門集中講座	○	2	全入学年度				
	短期東南アジア実習	○	1	全入学年度				
	東南アジア実習	○	2	全入学年度				
国際協力人材育成プログラム	グローバル共通教養総論	※	2	2012年度～			所属学部にお問い合わせください。	所属学部にお問い合わせください。
	グローバル・イシュー各論	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチA (国際人権系)	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチB (開発経済系)	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチC (人道支援系)	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチD (国際システム系)	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチE (模擬国連・総合演習系)	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチF (強制移転・移住系)	※	2	2012年度～				
	ソリューション・アプローチG (紛争と平和)	※	2	2012年度～				
	国際協カリエララー	※	2	2012年度～				
	アクティブ・リサーチ1	※	4	2012年度～				
	アクティブ・リサーチ2	※	2	2012年度～				

商学部を除く全ての学部において、長期休業期間中の海外留学を伴う科目の取扱いは、以下のとおりです（国際協力人材育成プログラムを除く）。

※大学祭期間中の海外留学を伴う科目は、取扱いが異なりますので、各学部事務室に必ず確認してください。

【対象科目】 「海外文化・専門集中講座」「海外語学研修講座」「短期海外実習」「海外実習」「長期海外実習」「東南アジア文化・専門集中講座」「短期東南アジア実習」「東南アジア実習」

【取扱い】 1 各学部で設定する履修上限単位数に含まない

2 同一科目名称であっても、異なる授業内容の場合、重複履修を認める

【対象入学年度】

法学部	2013年度～
商学部	×
政治経済学部	2015年度～
文学部	2015年度～
理工学部	全入学年度
農学部	全入学年度
経営学部	2012年度～
情報コミュニケーション学部	2013年度～
国際日本学部	全入学年度
総合数理学部	全入学年度

グローバル人材育成プログラム【経営学部】における単位の取扱表（2019年度以前入学者用）

2020/4/1

2020年度に開講しているグローバル人材育成プログラムは、2019年度までグローバル人材育成プログラム、日本ASEAN相互理解プログラム、国際協力人材育成プログラムとしてそれぞれ実施していました。

そのため、2019年度以前入学者は以下の取扱表を参考にし、履修の取扱いを確認してください。

【単位の取扱い】

○：学部卒業要件単位に含めて履修できます

△：卒業要件外科目として履修できます

※：「カリキュラム上の位置づけ」を確認してください

プログラム区分	科目名称	単位の取扱	単位数	履修可能な入学年度	履修条件	カリキュラム上の位置づけ
グローバル人材育成プログラム	地域研究講座	○	2	2012年度～	【2012～2016年度入学者】 履修上限単位数へ算入されない。	【2012～2014年度入学者】 修得した単位は、6単位まで自由履修科目の単位として卒業に必要な単位数に算入される。
	留学理解講座	○	2	2018年度～		
	日本社会・文化理解講座	○	2	2018年度～		
	海外文化・専門集中講座	○	2	2012年度～		
	海外語学研修講座 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語)	○	2	2018年度～	【2017年度以降入学者】 夏季休業期間及び春季休業期間に実施する集中科目は履修上限単位数へ算入されない。	【2015～2016年度入学者】 修得した単位は、10単位まで自由履修科目の単位として卒業に必要な単位数に算入される。
	短期海外実習	○	1	2012年度～		
	海外実習	○	2	2012年度～		
	長期海外実習	○	8	2012年度～		
日本ASEAN相互理解プログラム	海外実習課題研究	○	4	2012年度～	【2017年度以降入学者】 修得した単位は、すべて自由履修科目の単位として卒業に必要な単位数に算入される。	
	東南アジア理解講座	○	2	2012年度～		
	東南アジア文化・専門集中講座	○	2	2012年度～		
	短期東南アジア実習	○	1	2012年度～		
国際協力人材育成プログラム	東南アジア実習	○	2	2012年度～	所属学部にお問い合わせください。	所属学部にお問い合わせください。
	グローバル共通教養総論	※1・2	2	2012年度～		
	グローバル・イシュー各論	※1	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチA (国際人権系)	※1	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチB (開発経済系)	※1	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチC (人道支援系)	※1	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチD (国際システム系)	※1	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチE (模擬国連・総合演習系)	※1・3	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチF (強制移転・移住系)	※1	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチG (紛争と平和)	※1	2	2012年度～		
	国際協カリテラシー	※1	2	2012年度～		
	アクティブ・リサーチ1	※1	4	2012年度～		
	アクティブ・リサーチ2	※1	2	2012年度～		

商学部を除く全ての学部において、長期休業期間中の海外留学を伴う科目の取扱いは、以下のとおりです（国際協力人材育成プログラムを除く）。

※1 大学祭期間中の海外留学を伴う科目は、取扱いが異なりますので、各学部事務室に必ず確認してください。

【対象科目】 「海外文化・専門集中講座」「海外語学研修講座」「短期海外実習」「海外実習」「長期海外実習」「東南アジア文化・専門集中講座」「短期東南アジア実習」「東南アジア実習」

【取扱い】 1 各学部で設定する履修上限単位数に含まない

2 同一科目名称であっても、異なる授業内容の場合、重複履修を認める

【対象入学年度】

法学部 2013年度～
 商学部 ×
 政治経済学部 2015年度～
 文学部 2015年度～
 理工学部 全入学年度
 農学部 全入学年度
 経営学部 2012年度～
 情報コミュニケーション学部 2013年度～
 国際日本学部 全入学年度
 総合数理学部 全入学年度

※2 経営学部生は「Basic Solution Approach to International Public Management」（公共経営学科専門科目）の名称での履修となります。

※3 経営学部生は「Applied Solution Approach to International Public Management」（公共経営学科専門科目）の名称での履修となります。

グローバル人材育成プログラム【情報コミュニケーション学部】における単位の取扱表（2019年度以前入学者用）

2020/4/1

2020年度に開講しているグローバル人材育成プログラムは、2019年度までグローバル人材育成プログラム、日本ASEAN相互理解プログラム、国際協力人材育成プログラムとしてそれぞれ実施していました。そのため、2019年度以前入学者は以下の取扱表を参考にし、履修の取扱いを確認してください。

【単位の取扱い】

○：学部卒業要件単位に含めて履修できます

△：卒業要件外科目として履修できます

※：「カリキュラム上の位置づけ」を確認してください

プログラム区分	科目名称	単位の取扱い	単位数	履修可能な入学年度	履修条件	カリキュラム上の位置づけ
グローバル人材育成プログラム	地域研究講座	※	2	2013年度～	【2014年度以前入学者】 履修上限単位数に含まない。 【2015年度以降入学者】 履修上限単位を含む。 春季集中科目を2年生が履修した場合は進級判定の単位数に含まず、4年生が履修した場合は卒業判定の単位数に含まない。長期休業期間中に実施される海外留学関係科目については、履修上限単位数に含まない。	【2014年度以前入学者】 卒業要件には含まない。 【2015年度以降入学者】 「国際協力人材育成プログラム」「日本ASEAN相互理解プログラム」「グローバル人材育成プログラム」と合計し、16単位を上限として卒業に必要な単位数に含めることができる。
	留学理解講座	○	2	2018年度～		
	日本社会・文化理解講座	○	2	2018年度～		
	海外文化・専門集中講座	※	2	2013年度～		
	海外語学研修講座 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語)	○	2	2018年度～		
	短期海外実習	※	1	2013年度～		
	海外実習	※	2	2013年度～		
	長期海外実習	※	8	2013年度～		
日本ASEAN相互理解プログラム	海外実習課題研究	※	4	2013年度～		
	東南アジア理解講座	※	2	2013年度～		
	東南アジア文化・専門集中講座	※	2	2013年度～		
	短期東南アジア実習	※	1	2013年度～		
国際協力人材育成プログラム	東南アジア実習	※	2	2013年度～		
	グローバル共通教養総論	※	2	2012年度～	所属学部にお問い合わせください。	所属学部にお問い合わせください。
	グローバル・イシュー各論	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチA（国際人権系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチB（開発経済系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチC（人道支援系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチD（国際システム系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチE（模擬国連・総合演習系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチF（強制移転・移住系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチG（紛争と平和）	※	2	2012年度～		
	国際協力リテラシー	※	2	2012年度～		
	アクティブ・リサーチ1	※	4	2012年度～		
アクティブ・リサーチ2	※	2	2012年度～			

商学部を除く全ての学部において、長期休業期間中の海外留学を伴う科目の取扱いは、以下のとおりです（国際協力人材育成プログラムを除く）。

※大学祭期間中の海外留学を伴う科目は、取扱いが異なりますので、各学部事務室に必ず確認してください。

【対象科目】 「海外文化・専門集中講座」「海外語学研修講座」「短期海外実習」「海外実習」「長期海外実習」「東南アジア文化・専門集中講座」「短期東南アジア実習」「東南アジア実習」

【取扱い】 1 各学部で設定する履修上限単位数に含まない
2 同一科目名称であっても、異なる授業内容の場合、重複履修を認める

【対象入学年度】 法学部 2013年度～
商学部 ×
政治経済学部 2015年度～
文学部 2015年度～
理工学部 全入学年度
農学部 全入学年度
経営学部 2012年度～
情報コミュニケーション学部 2013年度～
国際日本学部 全入学年度
総合数理学部 全入学年度

グローバル人材育成プログラム【国際日本学部】における単位の取扱表（2019年度以前入学者用）

2020/4/1

2020年度に開講しているグローバル人材育成プログラムは、2019年度までグローバル人材育成プログラム、日本ASEAN相互理解プログラム、国際協力人材育成プログラムとしてそれぞれ実施していました。そのため、2019年度以前入学者は以下の取扱表を参考にし、履修の取扱いを確認してください。

【単位の取扱い】

○：学部卒業要件単位に含めて履修できます

△：卒業要件外科目として履修できます

※：「カリキュラム上の位置づけ」を確認してください

プログラム区分	科目名称	単位の取扱い	単位数	履修可能な入学年度	履修条件	カリキュラム上の位置づけ
グローバル人材育成プログラム	地域研究講座	○	2	全入学年度	履修上限単位数に含む。	修得した単位は、『自由選択科目』として卒業要件単位に算入する。
	留学理解講座	○	2	2018年度～		
	日本社会・文化理解講座	○	2	2018年度～		
	海外文化・専門集中講座	○	2	全入学年度	履修上限単位数に含まない。	
	海外語学研修講座 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語)	○	2	2018年度～		
	短期海外実習	○	1	全入学年度		
	海外実習	○	2	全入学年度		
長期海外実習	○	8	全入学年度			
海外実習課題研究	○	4	全入学年度			
日本ASEAN相互理解プログラム	東南アジア理解講座	○	2	全入学年度	履修上限単位数に含む。	
	東南アジア文化・専門集中講座	○	2	全入学年度	履修上限単位数に含まない。	
	短期東南アジア実習	○	1	全入学年度		
	東南アジア実習	○	2	全入学年度		
国際協力人材育成プログラム	グローバル共通教養総論	※	2	2012年度～	所属学部にお問い合わせください。	
	グローバル・イシュー各論	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチA（国際人権系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチB（開発経済系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチC（人道支援系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチD（国際システム系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチE（模擬国連・総合演習系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチF（強制移転・移住系）	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチG（紛争と平和）	※	2	2012年度～		
	国際協カリエラシー	※	2	2012年度～		
	アクティブ・リサーチ1	※	4	2012年度～		
アクティブ・リサーチ2	※	2	2012年度～			

商学部を除く全ての学部において、長期休業期間中の海外留学を伴う科目の取扱いは、以下のとおりです（国際協力人材育成プログラムを除く）。

※大学祭期間中の海外留学を伴う科目は、取扱いが異なりますので、各学部事務室に必ず確認してください。

【対象科目】 「海外文化・専門集中講座」「海外語学研修講座」「短期海外実習」「海外実習」「長期海外実習」「東南アジア文化・専門集中講座」「短期東南アジア実習」「東南アジア実習」

【取扱い】 1 各学部で設定する履修上限単位数に含まない
2 同一科目名称であっても、異なる授業内容の場合、重複履修を認める

【対象入学年度】 法学部 2013年度～
商学部 ×
政治経済学部 2015年度～
文学部 2015年度～
理工学部 全入学年度
農学部 全入学年度
経営学部 2012年度～
情報コミュニケーション学部 2013年度～
国際日本学部 全入学年度
総合数理学部 全入学年度

グローバル人材育成プログラム【総合数理学部】における単位の取扱表（2019年度以前入学者用）

2020/4/1

2020年度に開講しているグローバル人材育成プログラムは、2019年度までグローバル人材育成プログラム、日本ASEAN相互理解プログラム、国際協力人材育成プログラムとしてそれぞれ実施していました。そのため、2019年度以前入学者は以下の取扱表を参考にし、履修の取扱いを確認してください。

【単位の取扱い】

○：学部卒業要件単位に含めて履修できます

△：卒業要件外科目として履修できます

※：「カリキュラム上の位置づけ」を確認してください

プログラム区分	科目名称	単位の取扱い	単位数	履修可能な入学年度	履修条件	カリキュラム上の位置づけ
グローバル人材育成プログラム	地域研究講座	○	2	全入学年度	夏季休業期間及び春季休業期 間に実施する集中科目を除き、各年次の履修制限単位に含める。	卒業要件として認める。
	留学理解講座	○	2	2018年度～		
	日本社会・文化理解講座	○	2	2018年度～		
	海外文化・専門集中講座	○	2	全入学年度		
	海外語学研修講座 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語)	○	2	2018年度～		
	短期海外実習	○	1	全入学年度		
	海外実習	○	2	全入学年度		
	長期海外実習	○	8	全入学年度		
日本ASEAN相互理解プログラム	海外実習課題研究	○	4	全入学年度		
	東南アジア理解講座	○	2	全入学年度		
	東南アジア文化・専門集中講座	○	2	全入学年度		
	短期東南アジア実習	○	1	全入学年度		
国際協力人材育成プログラム	東南アジア実習	○	2	全入学年度	所属学部にお問い合わせください。	所属学部にお問い合わせください。
	グローバル共通教養総論	※	2	2012年度～		
	グローバル・イシュー各論	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチA (国際人権系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチB (開発経済系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチC (人道支援系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチD (国際システム系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチE (模擬国連・総合演習系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチF (強制移転・移住系)	※	2	2012年度～		
	ソリューション・アプローチG (紛争と平和)	※	2	2012年度～		
	国際協カリエラシー	※	2	2012年度～		
アクティブ・リサーチ1	※	4	2012年度～			
アクティブ・リサーチ2	※	2	2012年度～			

商学部を除く全ての学部において、長期休業期間中の海外留学を伴う科目の取扱いは、以下のとおりです（国際協力人材育成プログラムを除く）。

※大学祭期間中の海外留学を伴う科目は、取扱いが異なりますので、各学部事務室に必ず確認してください。

【対象科目】 「海外文化・専門集中講座」「海外語学研修講座」「短期海外実習」「海外実習」「長期海外実習」「東南アジア文化・専門集中講座」「短期東南アジア実習」「東南アジア実習」

【取扱い】 1 各学部で設定する履修上限単位数に含まない
2 同一科目名称であっても、異なる授業内容の場合、重複履修を認める

【対象入学年度】 法学部 2013年度～
商学部 ×
政治経済学部 2015年度～
文学部 2015年度～
理工学部 全入学年度
農学部 全入学年度
経営学部 2012年度～
情報コミュニケーション学部 2013年度～
国際日本学部 全入学年度
総合数理学部 全入学年度